



シーニックバイウェイ北海道 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

十勝には3つのルートがあります。十勝の北側に位置する十勝平野・山麓ルート、南側の南十勝夢街道、そして、今回ご紹介するのがトカプチ雄大空間です。

トカプチ雄大空間は、平成22年5月に指定ルートに認定され、帯広市を中心とした、音更町、芽室町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町、本別町の1市7町で構成されています。ルート名称の「トカプチ」は、十勝川や十勝の地方名としてアイヌ民族が使っていた十勝の旧名称です。また、十勝開拓の歴史の中では道としての役割も合わせ持っていた「十勝川」と十勝地方の雄大な空間をイメージでき、先人の歴史を想像できるように「トカプチ雄大空間」という名称が付けられました。

なお、ルートのメンバーは、民間企業の所属が多いルートとなっており、平成27年12月末現在で46団体が所属しています。

ルート活動のテーマは経済活動

トカプチ雄大空間では、ルートの理念として、「経済活動（街づくり）」「ボランティア活動」「連携（人づくり）」「活性化」の4つの活動を循環させ、らせん状に持続させることで、交流人口や長期滞在人口の増加を目指しています。そして、「十勝型産業の創出」と相まって、将来的には移住・定住人口増加に繋がるよう、人づくり・街づくりなど地域活性化の活動を行っています。このような、「経済活動」をテーマとしているルートは全道の中でも珍しく、特徴あるルートとなっています。

3つの部会が活発に活動！

今年度は、ルート内の活性化を目的に運営体制や部会の人員配置、活動内容の見直しが図られました。メインとなる部会は、「楽しむ部会」「知る部会」「感じる部会」の3つで構成されており、各部会長を中心にそれぞれの部会が活発に活動しています。

「楽しむ部会」は、温泉・観光・景観・アクティビティを中心に、主にルート内の魅力ある施設との連携を図



紺野 裕乃 (こんの ひろの)

十勝シーニックバイウェイルートコーディネーター
(一社)北海道開発技術センター上席研究員

札幌市出身。入社後、2010年から「十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間」、13年から「十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート、南十勝夢街道」のルートコーディネーターを担当。北海道のフットバス調査研究やフットバス歩きで学んだ「地域の産業や生活・景観を活かした観光・地域づくり」を活かせるよう、地域の方々とは日々交流を深めながら地域活動の支援を行っている。

楽しむ部会

平成27年度に販売した「とかちガーデン・スイーツ・温泉チケット」。28年度は内容をリニューアルして1,600円で販売予定



り、より楽しめるプログラムを構築することを活動目的にしています。現在は、とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット（通称：GSOチケット）の作成・販売を中心に活動しています。発足当初から取り組んできた収益を目的とした事業で、昨年度から連携施設をルート内から十勝エリア全体に広げ十勝シーニックバイウェイ他2ルートと連携・協力をしています。

事業は、協力店の募集から、店舗への事業説明、販売金額の設定・精算、チケットの作成、広報と作業が多岐に渡っています。販売実績も上がってきており、事項でご紹介するベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクトで平成25年度の最優秀賞を受賞するなど評価をいただいています。

「知る部会」は、十勝開拓や馬文化等の歴史の背景をたどり、大規模農業から育まれた自然の恵みに関連の施設や、お菓子等の名産品を通じて発信することを目的として、主にルートマップと情報BOX事業の2つを中心に活動を行っています。

ルートマップ事業は、エリア内の自治体や関係機関とも連携し各市町の基本情報のほか、ルート内のオスメのスポットや食、イベント情報などを紹介しています。管内のイベントを中心に札幌駅前通地下歩行空間のイベント等で配布、PRを行っており、来年にはマップもリニューアルする予定で、「感じる部会」とも連携しながら、ルートの持ち味が活かせる内容を検討しています。また、同部会では、ルートの施設間を互いに紹介しあう情報BOX事業も行っています。この情報BOXにもルートマップを常備し、訪れた観光客の皆様へのPR活動を行っています。

「感じる部会」は、各部会との情報共有や研修会等を通じて、プロモーション活動による情報発信やライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー・以下、LC）の育成を行うことを目的に活動しています。LCとは、十勝の魅力に住んでいる人が直接お伝えするボランティアベースの活動で、プロとは違った地域の人

柄溢れるガイドが好評の事業です。現在は、JR帯広駅や十勝川温泉にあるシーニックカフェ十勝が丘展望台（期間限定）などを中心に活動しています。

今年度は、LCがおすすめするスポットや資源についてワークショップにて意見交換を行い、おもてなしマップ（仮）を作成するための検討を行っています。また、「知る部会」とも協力し、収集した情報をルートマップにも活かす連携活動も行っています。

ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト受賞！

本賞は、シーニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動の積極的な創出、啓発・普及を目的として、シーニックバイウェイ推進協議会が前年度の優れた活動に対して毎年表彰している制度です。トカプチ雄大空間では、過去2回、最優秀賞を受賞しています。

平成25年度には「トカプチまる得めぐり券事業（現GSOチケット）」が受賞。本格的な収益事業としてSBW北海道の初の試みであり、それが継続され、実績が上がっていることや今後の広がりが期待できる、他のルートの見本となる取り組みとして評価されました。

平成27年度には「ライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー）育成事業」が受賞。地域の魅力や生活の楽しさを伝えるコンシェルジュの育成を行い、地域力向上の努力に加えて、魅力発信ツールとして地域外の人々への積極的な働きが評価され、個性ある取り組みとして発展することが期待されています。

おわりに

これまでご紹介したようにトカプチ雄大空間は、ルート代表を中心としてルートメンバーの皆さん（部会）が活発に事業を進めており、目的意識を持って笑顔で楽しそうに活動を続けています。また、活動を行っていく中で生まれた新しい出会いや繋がりを大切にされています。その人と人とは広く繋がれることが「シーニックバイウェイ北海道」であり、広い分野の人と関わることで新たな活動や、シーニックらしい地域の特徴ある活動が生まれてくるのだと感じています。

知る部会

トカプチ雄大空間ルートMAP



感じる部会

研修会やワークショップを開催し、ルート内の隠れた資源を発掘、情報交換・情報発信を行っている

